

# 平成25年度 第6回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年(2013年)7月23日(火)  
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 南原公民館 ホール
- 3 テーマ 南原地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者14名 傍聴者14名



南原公民館での集会の様子

## **5 市長あいさつ**

皆様、こんばんは。夜分にも関わらず、対話集会に御参加いただき誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

現在、市内の各地域に伺い、ほっとミーティングを開催させていただいています。地域の課題や問題を地域の皆様から伺い、市政への反映を考えています。市長に就任させていただいた平成23年度は東日本大震災を受け、防災対策をテーマに市内4か所にて開催させていただきました。平成24年度は地域のまちづくりをテーマにし、地区自治会連合会単位にて14回開催させていただきました。今年度も昨年度同様に地域を回らせていただいております。この南原地区が6回目の開催です。お伺いする各地域では、様々な課題や取り組みについて教えていただいております。

私は市役所に22年間勤め、地区公民館の主事もさせていただきました。平塚市の各地域には、歴史や人材、文化などの豊富な資源があります。地域の皆様が地域の課題を捉え、行政と一緒に課題に取り組んでいただけることが地域を輝かせると考えてきました。このほっとミーティングも、このような思いのもと、開催させていただいております。

今日は南原地区の皆様から、この地域のお話を伺って市政への反映を考えさせていただきます。また、今日この場でお答えできないこともあるかと思えます。その時には、事務局から担当部署に確認してお返しさせていただきます。今日は忌憚のない御意見をよろしく願いいたします。

## 6 主な対話集会の内容

### ① 交通について

#### 【参加者】

南原地区では、交通安全が大きな課題になっています。道路は狭いですが、交通量が非常に多い地域です。例えば、平塚信用金庫南原支店、向原バス停の交差点は信号機がない、とても危険な5差路交差点です。南原地区の交通安全のためには、抜本的な交通体系への対策が必要です。地域の道路は生活道路であり、幹線道路でもあります。行政には、地域と一緒に南原地区の交通安全を考えてほしいです。

#### 【市長】

この南原地区においては、自動車が増えることによる幹線道路での高齢者の方や子どもの安全など、多くの交通に関わる課題があります。地域の自動車や人の流れなど、交通体系を調査し、安全対策を考えさせていただく必要があります。

また、地域の道路や歩道の整備がなかなか進まないことにより、南原地区の皆様には大変御不便をおかけしてしまっています。地域の皆様の安心安全のためにも、できるだけ早く、計画的に交通インフラの整備に取り組んでいきたいと考えます。

#### 【参加者】

南原土手バス停の近くには、平日で約50台、休日には約30台の自転車やオートバイが駐輪されています。先日、駐輪された自転車が歩道にはみ出し、車いすを利用する人の障害になっていました。フェンスで囲む駐輪場を整備し、歩道の安全を確保してほしいと思います。北側にある県有地も、駐輪場として利用できると思います。

#### 【市長】

現在、交通政策として、「サイクルアンドバスライド」を推進しています。自動車を使わず、自転車や徒歩でバス停まで行き、公共交通機関であるバスを利用していただくことです。例えば、豊田本郷の新幹線沿いのバス停では、駐輪場を整備しました。大神地区にも同様の駐輪場があります。土地の確保が必要になりますが、南原土手バス停における「サイクルアンドバスライド」や歩道の安全確保を考えさせていただきます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

南原土手バス停付近に駐車してある自転車が歩道上にはみ出している問題については、当該地が本来駐車場でなく、道路であることから、まずは安全な歩行空間を確保するために、道路管理者と協力して自転車を停めないように呼びかける看板を掲出しました。

また、当該地及び道路を挟んだ向かい側の神奈川県管理の土地を自転車駐車場に整備することについては、神奈川県が管理する土地の利用の可否や必要な台数分だけの駐輪スペースの確保、駐車場から自転車があふれることによって危険な状況を作り出すことはないか、東雲橋西側にある既存の駐車場との兼ね合いなどの問題点を勘案し、実際に整備することが可能かを今後検討してまいります。

（事務担当は交通政策課自転車対策・交通安全担当）

**【参加者】**

南原公園北側と歯科医院のT字路は見通しが悪く危険です。急に自転車や子どもが飛び出してくることもあります。安全対策のために、カーブミラーを設置してほしいです。

**【市長】**

カーブミラーについては、土木部にて危険な場所の確認をしています。危険度を数値化し、基準以上の場所にはカーブミラーを設置しています。御意見いただいた場所については、担当課にて確認させていただきます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

カーブミラーについては、交差点において、一時停止側の車輛が交差点に進入する際、徐行しても安全が確保できない場合に設置しています。

南原公園北側のカーブミラーの設置については、現地確認の結果、御要望の箇所は視距の確保もできていることから設置の必要はないと考えます。ただし、交差点標示マークの設置及び道路法肩の除草を行います。

また、歯科医院付近T字路のカーブミラーの設置については、現地確認の結果、正面が駐車場であり、出入りに支障が出てしまうため、現在設置については検討中です。本市で使用しているカーブミラーを現地に持って行き、状況の確認を行いました。設置角度がかなり厳しい状態です。製品についても、調査しながら進めています。今後、地元との調整が必要となりますので、進捗状況については、本市道路管理課まで御連絡くださるようお願いいたします。

（事務担当は道路管理課維持担当）

**【参加者】**

追分から玉川橋までの道路において、信号機が設置されている場所は2か所だけです。道幅は狭いですが、交通量がとても多い道路です。高齢者や子どもの安全を考えると、信号機が必要な場所が多くあります。特に、玉川橋東側の歩道には信号機がありません。距離が長い歩道のため、高齢者が安全に渡るためにも、信号機による横断時間の確保が必要です。

**【市長】**

設置される信号機が少ないことには、自動車の流れなども関わってくると思います。信号機の設置は警察の管轄になり、神奈川県予算に関わることでありますが、平塚市内で年間に設置される信号機は1か所から2か所です。しかし、危険を放置することはできませんので、交通安全の担当課にはお話を伝えさせていただきます。

**【参加者】**

南原小学校の通学路には、手押し信号機によって渡る横断歩道があります。しかし、手押し信号機が交差点から離れた場所にあるため、信号機を押すために集まった子どもが歩道からはみ出してしまいます。子どもがはみ出す道路は交通量が非常に多く、昨年は交通事故も起きてしまいました。手押し信号機の位置の変更など、通学路の安全対策をお願いします。

**担当課回答**（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

通学路の安全対策の御要望をいただいた箇所については、7月31日（水）に南原小学校教諭、南原小学校 PTA 会長、平塚警察署交通課職員、本市交通政策課、道路管理課、道路整備課及び教育総務課職員により合同点検を実施し、次のとおり結果となりました。

信号機及び押しボタンは一体のものとして設置し、その設置場所は視認性や安全性が確保できる場所に設置する必要があるとあり、現場の状況から現在の設置場所となったもので、位置の変更をすることはできないとのことでした。このほか、横断後の安全を確保するため、道路への外側線敷設なども検討しましたが、道路幅員が狭く敷設はできないとのことでした。ハード的な安全対策実施は困難であることから、引き続き地域の方等による見守りの実施をお願いし、安全対策とすることになりました。

（事務担当は教育総務課学務担当）

## 【参加者】

渋田川沿いの大縄橋から南原土手までの道路も交通量が多い道路です。新しく開店したヨークマートに向かう自動車や朝夕に通学する生徒、ウォーキングをする人が多く利用します。しかし、道幅は狭く、とても危険な道路です。以前、「市長への手紙」にて、道路の整備をお願いしました。いただいた回答は、神奈川県と道路拡幅を検討しているが、住宅敷地の高さや出入口などに課題があるとのことでした。今後も交通量の増加が予想される道路です。できるだけ早く、拡幅などの整備を行ってほしいです。

## 担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

市道御殿38号線及び市道南原16号線は、二級河川渋田川の河川管理通路（土手の上部）が周辺地域の市街化に伴い生活道路化してきた路線であり、河川管理者である神奈川県と管理協定を結び、平塚市道として認定している道路です。

大縄橋から南原土手までの堤防道路は地元自治会から整備要望が出され、過去に測量調査を実施いたしましたが、堤防道路沿いの住宅敷地の高さが様々であり、出入口の確保が困難なことから、堤防道路の拡幅整備には至りませんでした。

また、堤防道路を拡幅整備することにより、今まで以上の交通量を呼び込み、交通量増大による騒音・振動や交通事故の増加などが懸念され、御殿及び南原地域の皆様の理解を得る事も必要となります。

これらの点から、現段階で一定の幅に拡幅整備することは困難です。ただし、車両のすれ違いが困難で危険な箇所については、河川管理者である神奈川県と車の待避所等の設置を協議してまいります。

（事務担当は道路整備課計画担当）

## ② 施設について

### 【参加者】

今、平塚市において、多くの公共施設が老朽化しています。先日、壁が剥離した施設もありました。この南原公民館も、建設から34年間が経過し、建て替えや改修が望まれています。また、公民館の利用者には多くの高齢者がいます。車いすや杖を利用する方のためにも、施設のバリアフリー化は早急な課題です。

### 【市長】

この南原公民館は、昭和53年12月に建て34年間が経過しました。平塚市内、古い方から数えて6番目の公民館です。私が岡崎公民館の主事として勤めた平成7年から平成12年までの5年間においても、大変お世話になった公民館です。現在、大野公民館を改修中で、次に吉沢公民館の改修を考えています。以前、公民館建設の際には国からの補助がありましたが、今は全て市の予算になります。厳しい財政状況から、1年に1館ずつ改修することも難しい状況です。しかし、バリアフリーを含めた時代に合った計画的な改修は必要です。総合計画の実施計画など、具体的な位置づけを行いながら計画したいと考えます。

全国的な問題となった笹子トンネルの天井板落下事故があり、平塚市唯一のトンネル、日向岡トンネルの点検を行いました。御意見のとおり、平塚市内の公共施設は軒並み老朽化が目立ちます。道路や橋なども同様です。全体的なことを考えると、全てを建て直す計画は難しく、長寿命化を図る方法を取らざるをえません。

今年度の機構改革において、資産経営課を新設しました。今後は、多くの公共施設を長持ちさせるため、具体的な計画を検討してお示しする段階になると思います。

### 【参加者】

平塚駅の北口は、地上と改札口に高低差があります。ステーションビルが閉店している時間は、エレベーターやエスカレーターによって改札口から地上に降りることができません。平塚市は盲学校やろう学校、養護学校がある障がいのある方に思いやりのあるまちであると思っています。また、北口は平塚市の表玄関でもあります。エレベーターやエスカレーターの設置は必要なことと思います。

### 【市長】

平塚駅において、西口の南側には10月までにエレベーターが設置されます。御意見いただいた北口は以前から問題になっています。ステーションビルが閉店すると、北口のエレベーターは使えません。エレベーターの移設についても、これまでは階段や売りの構造上、難しいことでした。しかし、御意見のとおり改善は必要です。現在、具体的なエレベーターの設置場所について、ステーションビルと一緒に検討を進めています。

### 【参加者】

平塚市内に公民館は26館あります。公民館は地域コミュニティを築く拠点になっていると思います。しかし、最近は利用の制限が厳しくなっています。団体の登録のためには、その地域の住民が何人か必要であることやサークルが調理室で作った料理を会議室で試食できないことなどがあります。利用しづらくなったという声もあります。

### 【参加者】

南原公民館長をしています。登録のために地域の住民が必要なことについては、基本的に各地域にある地元の公民館を利用していただきたいという考えからです。ただし、南原公民館では、南原地区の方がいないから利用できないとは言いません。また、一つのグループは原則5人です。5人の申し込みで、絶えず2人で使用しているグループもあり、そのような場合には調査や指導をさせていただきます。そして、公共施設での飲食は禁止になっていますが、今日も南原公民館では子どものサマースクールがあり、「ママの会」の方に御指導いただき、ピザやスープを作って和室で試食していただきました。このような活動において、南原公民館では柔軟に対応しています。

### 【市長】

平塚市は全国でも珍しく、概ね小学校区に公的な公民館が1館ずつあります。公民館では、生涯学習や社会教育、地域の活動を行ってきた歴史があります。私はこれからの公民館には、地域のまちづくりの拠点になってほしいと考えています。難しい言葉では地域内分権として、地域の課題を地域で捉え、地域の皆様のお力で解決できるような活動の拠点になってほしいと思います。そのために、行政は一生懸命お手伝いさせていただきます。例えば、これまで使用目的を指示させていただきながら、各地域にお出ししてきた予算があります。今後は、それぞれの地域で美化やごみ、体育振興など活動の目的を指定せず、地域の活動に応じたお金の使い道を決めていただけるような交付の方法を



目指していきたいと考えています。

**【参加者】**

自分たちの地域の課題を掘り起こして解決することに大いに賛成します。既存の団体の枠を超えたワークショップにより、行政に要望する前に地域で解決できることは地域で行うことが、これからの地域づくりには必要なことです。

**【市長】**

例えば、公共施設を地域に造る時、ワークショップ形式で検討を行っている地域もあります。定期的に地域の方が集まってまちの問題点を話し合い、自分たちが解決できることを解決し、難しい場合には市に要望します。このような公民館や町内福祉村を中心とする地域のまちづくりがはじまっています。行政はこのような地域の活動を、しっかりお支えさせていただきます。協働推進課では、事例や提案をさせていただきますので、この南原地区においても、ぜひ御相談くださるようお願いいたします。

**【参加者】**

南原公園は道路に面したところにフェンスがないため、子どもがボールなどを追いかけて飛び出してしまうことがあります。飛び出す道路は自動車が多く利用する道路です。ボールも子どもも飛び出ることがないように、公園にはフェンスなどを設置してほしいです。

**【市長】**

みどり公園・水辺課にて、南原公園を確認させていただき、安全対策を考えさせていただきます。

**担当課回答** (集会後、次のとおり担当課に確認しました。)

南原公園の道路側出入り口には園名入りの石柱が設置されており、また、景観の問題やフェンスへのボール投げ等様々な課題が考えられることから、フェンスなどの設置については、現状では難しいと考えます。

安全対策ということで、公園愛護会にパトロールをお願いするとともに、まずは、公園に「飛び出し注意」等の看板を8月中旬までに設置させていただきます。

なお、このことについては、公園利用者の安全をより保てるよう、今後、公園愛護会とも協議してまいりますので、御理解の程、よろしく申し上げます。

(事務担当はみどり公園・水辺課公園管理担当)

### ③ 防災・防犯について

#### 【参加者】

南原地区は高い建物が少ない地域です。津波からの避難場所として、公園に築山(つきやま)のようなものを造って避難場所にする方法もあると思います。

#### 【市長】

東日本大震災では津波の被害が甚大でした。就任後は、海岸地域を中心として71か所の津波避難ビルを指定させていただき、約6万5千人の避難場所を確保できました。

神奈川県が想定する12の地震において、平塚市に一番高い津波が到達するのは、元禄型関東地震と神縄・国府津-松田断層帯地震の連動地震発生19分後に6.9メートルの津波が到達します。国道134号線の高さが約8メートルあるので、津波が国道を超えることは想定されませんが、津波が相模川や花水川を溯上する可能性はあります。公園に大きな築山を造ることは難しいことですが、川に面する地域の津波対策も進めていきたいと考えます。

#### 【参加者】

南原地区には金目川と鈴川が並んでいます。最近の集中豪雨では、川の水量が非常に多くなり、川が氾濫するのではないかと心配です。

#### 【市長】

集中豪雨によって水量が増え、金目川の堤防が崩れてしまったことがありました。上流から流れた土砂が溜まって河床が高くなったことにより、流せる水量が減ってしまっているそうです。神奈川県も浚渫工事を行っていますが、今後も早く対策を行うように要望を続けていきます。

#### 【参加者】

学童パトロールを行っています。先日も事件が起きて話題になっていましたが、パトロールを行う側の安全対策も必要になると思います。

#### 【市長】

御意見のとおり、傷つけようとした犯人から子どもを守っていただいたお話がありました。子どもを守る地域の活動を本当にありがたく思っています。パトロールしていただく方の身を守ることも大切です。万が一、けがをされた時のための保険はありますが、事件を未然に防ぐために、警察との連絡体制や学校との安全対策への取り組みなどを考える必要があります。

#### ④ 福祉・教育について

##### 【参加者】

高齢化社会になり、施設の需要が大きくなっています。公共の介護施設や老人ホームはありますか。

##### 【市長】

公共の介護施設や老人ホームはなく、特別養護老人ホームをつくることも考えていません。今、それぞれの特別養護老人ホームでは、待機している方が約1,000人います。この課題を解決することも大切なまちづくりです。新しい施設を建てるのではなく、在宅によって高齢者の方を支えるサービスが必要です。在宅にて介護や医療などのサービスを受けられる地域包括ケアシステムの構築が求められています。また、高齢者の方には買い物難民の課題もあります。行政では、自宅に食料品などを配達してくれるお店を載せた冊子の発行も考えています。

平塚市の高齢化率は約23パーセントです。団塊の世代の方が65歳を迎えると、30パーセントを超える見込みです。これからのまちづくりには、高齢者の方の生活を考えることが重要になると考えます。

##### 【参加者】

国際的な子どもを育てることが必要な時代になりました。学校では、英語教育の充実が必要になると思います。

##### 【市長】

国際的な子どもを育てるために平塚市も英語教育に力を入れようと、教育長とは話をしています。学校では外国語教師を多く雇い、英語に触れてもらう授業を行っています。土沢中学校では、神奈川大学から講師を派遣していただき、英語だけでなく、数学や理科の勉強を教えてもらっています。大学とも連携しながら、英語教育を充実させていきたいと考えます。

また、平塚市はカンザス州のローレンス市と姉妹都市です。毎年、青少年の交流を行っています。異文化や英語に触れることで、学びたいという意欲を生みたいと考えます。このような機会づくりは大変重要です。

## ⑤ 環境について

### 【参加者】

玉川橋の下には草木が生い茂っています。以前、提示された図面には親水公園の計画があったかと思います。河川なので、神奈川県の手轄になるとは思いますが、生い茂っている草木への対応と親水公園の計画について聞きたい。

### 【市長】

玉川橋改修の際に、親水公園の計画が図面で提示されたかと思います。神奈川県も堤防を整備するために土地の買収を進めていますが、買収が完了していない場所があるようで、解決には至っていません。買収完了後に、再度公園のお話も出てくると思います。地域の皆様が心配されていることは、担当課を通して神奈川県にお伝えさせていただきます。

### 担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

御意見いただいた内容について、河川管理者である神奈川県平塚土木事務所に問い合わせいたしました。

はじめに、生い茂っている草木については、河川区域内の木が水流の正常な流れを阻害するような場合には伐採することがあるが、草刈りのみでの対応はしていないとのこと。ただし、土砂等が堆積し、川全体の流れから当該箇所が著しく水流を阻害しているようであれば、浚渫工事を行うとのこと。

次に、親水公園の計画については、現在、左岸側を「緩やかな護岸」、右岸側を※「高水敷」と「遊歩道」を設置するなど、水辺に近づくことが出来る親水性のある川づくりとして整備を進めていますが、まだ買収が完了していないことから、整備も一部進んでいないところがあるとのこと。なお、御意見等ございましたら、平塚土木事務所工務部河川砂防第一課（電話0463-22-2711内線4202）へお問い合わせくださるようお願いいたします。

※高水敷 平常時に水が流れる部分より一段高い敷地で、平常時には様々な利用をされますが、豪雨等の増水時には水に浸かってしまいます。

（事務担当は土木総務課国県事業推進担当）

### 【参加者】

地区美化推進委員とごみ減量化婦人の会とでは、双方で活動していますが、お互いの役割の線引きがよく分かりません。

### 【市長】

地区美化推進委員は地域の環境を守る活動、ごみ減量化婦人の会はごみの減量化や資源化の啓蒙や注意を行っていただいています。私もはっきりとした線

引きは分かりませんので、担当課に確認をさせていただきます。

昔に比べ、市民の皆様の御協力によって本当にごみは減りました。改めて感謝申し上げます。今後、平塚市と大磯町、平成28年度からは二宮町も加わる広域ごみ処理を行います。新しい環境事業センターでの処理を安定的に行い続けるため、今後ごみの減量化や資源化をお願いいたします。

また、大磯町や二宮町ではごみを出す袋を買っていただく、指定袋制や有料化を実施しています。平塚市もすぐに行うということではありませんが、1市2町による広域ごみ処理の中では、ごみの集め方などを統一させるため、有料化も含めた検討を進めています。

**担当課回答**（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

日頃より、本市の環境美化及びごみの減量化の推進に御協力いただきありがとうございます。

「地区美化推進委員会」と「ごみ減量化婦人の会」の役割区分についてですが、「地区美化推進委員会」は、住みよいまちづくりのため、美化運動（美化意識の普及・高揚・浸透、自主的な美化活動の推進、公共の場の環境美化など）を地域で取り組む組織として設置しています。地区美化推進委員会の主な活動は、美化に関する広報、年2回のまちぐるみ大清掃、各地区独自の美化（清掃）活動を行っていただいているとともに、ごみゼロクリーンキャンペーンや平塚市さわやかで清潔なまちづくり条例のキャンペーンなどにも参加協力をいただいています。

「ごみ減量化婦人の会」は、家庭でごみの減量を進めてもらうため、ごみの減量化策を自ら実践してもらうことと減量化策を地域に普及、啓発してもらうことを目的に設置しています。会の地域での主な活動は、「ごみ減量化だより」の発行、生ごみの水切りや資源化の普及、再生品やマイバックの利用キャンペーンなどを行っています。また、各種イベントに参加協力いただき3R啓発なども行っています。

両組織とも環境に通ずるものですが、役割区分としては、美化活動とごみの減量活動を行う組織としています。本市では、引き続き美化の維持向上、ごみを減らしていく目的があるため、両組織の役割や活動内容について、より御理解いただけるよう努めてまいります。

（事務担当は循環型社会推進課資源循環担当）

## 7 市長によるまとめ

今日は様々なお話をいただき、ありがとうございました。

交通の課題など、大きな視点で捉え、これからの南原地区のまちづくりに取り組んでいく必要があると感じました。

地域の皆様には、ぜひ地域の課題を捉えていただき、これからもまちづくりに取り組んでいただくようお願いいたします。私たちも、元気で住みやすいまちになるような行政サービスを進めさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

## アンケート結果報告

【回答数 25件（参加者 14件 傍聴者 11件）】

### 参加者・傍聴者について

#### 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	1名	3名	0名	7名	14名	0名

#### 性別

男性	19名
女性	4名
回答なし	2名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	4名	4名	8名
ポスターやチラシ	1名	0名	1名
町内会など地域から	7名	7名	14名
市ホームページ	1名	0名	1名
その他	1名	0名	1名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	12名	4名	16名
まあよかった	2名	7名	9名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問3** 本日の対話集会のご感想や運営へのご提案等について。

**回答**

- ・市長の対応は丁寧で誠意が感じられました。
- ・報告書が楽しみです。
- ・地域づくりのワークショップを考えていきたい。
- ・時間が短かった。今後も継続的に実施していただきたいです。
- ・市長の回答は詳しくて良かったです。
- ・市の考え方が大変参考になりました。
- ・地域の問題が共有できました。
- ・市長の考える「地域内分権」に共感できました。
- ・参加者の意見が実行されると良いと思います。
- ・地域の皆様の情報交換が良かったです。
- ・今日参加したことを生かし、地域のことを考えてきたいと思います。
- ・司会の方が対応策を引き出そうとしていた点がとても良かった。
- ・具体的な案が住民から出て良かった。
- ・市長が考えを言い、指示を出すリーダーシップを示してほしい。
- ・内容が広範囲すぎると思った。
- ・市長の姿勢には敬意を示します。